

# 大野城市国際化推進プラン ～人・世界・文化をつなぐまち「ONOJO」～【概要版】

## プラン策定にあたって

### プラン策定の趣旨

私たちをとりまく社会情勢は、情報通信技術の進歩や交通網の充実、在住外国人の増加などに伴い、刻一刻と変化し続けています。このことを背景に、今後ますます進展が予想される国際化の潮流に対応し、地域や国際交流関係団体、行政機関などの協働（共働）によって大野城市の国際化を推進していく必要があります。以上のことから、大野城市の持つ特徴を活かした魅力あるまちづくりの実現のために、平成10年に策定した「大野城市国際化プラン」を改定して、今の時代に即した「大野城市国際化推進プラン」を策定します。

### プランの位置づけ

「第5次大野城市総合計画」を上位計画とし、それを補完する個別計画として位置づけ、課題の解決に向けた施策や事業など具体的な取り組みを総合的かつ体系的に示しています。

### プランの期間

平成26年度から平成30年度までの5年間とします。

## 大野城市の国際化を取り巻く現状と課題

### 大野城市の国際化の現状

大野城市では、総人口の増加率に伴い、外国人市民の増加も著しく、平成23（2011）年度末には外国人市民の総人口が601人となっており、平成11（1999）年度末時点の人口の約1.5倍に増えています。国籍別で見ると、中国、韓国、フィリピン、アメリカの順となっており、その4ヶ国で全体の81.2%となっています。そのような中、大野城市の国際化に関する課題として、次の6つの点について整理しました。

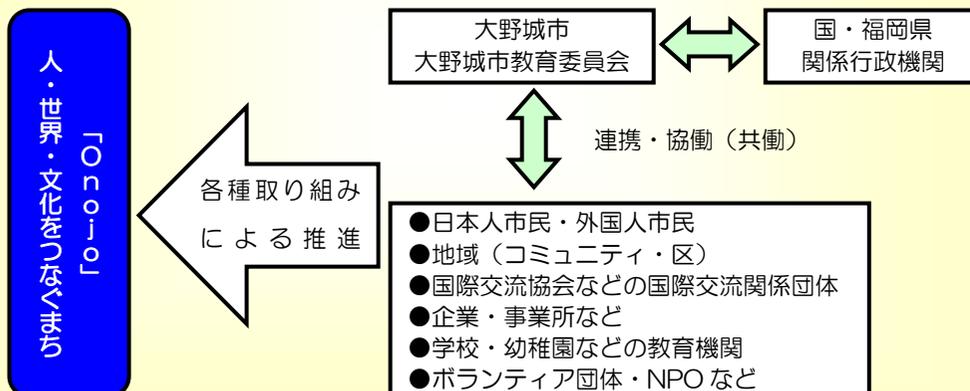
- ①外国人市民への情報提供不足
- ②外国人市民とのコミュニケーション・相互理解の不足
- ③国際化推進の担い手不足
- ④外国語能力の向上
- ⑤外国人市民に対するサポートのあり方
- ⑥文化財などの大野城市の財産の活用

## プランの推進

### 推進体制

本プランの推進にあたっては、大野城市役所内の連絡調整を図り、関係部署の連携体制を強化するとともに、国や県、他の行政機関、市民団体などの多文化共生や国際化施策の推進の担い手となる各種団体と緊密な連携・協働（共働）に努めます。

### 【推進体制のイメージ図】



## プランの基本ビジョン

### 基本理念

外国人市民の増加など刻々と移り変わる状況や新しい課題に対応していくため、『人・世界・文化をつなぐまち「ONOJO」』を基本理念に掲げ、多文化共生社会の実現を根底に置いた国際化の推進を図っていきます。

### 基本目標と基本プロジェクト

※ ●は重点プロジェクト

#### 基本目標Ⅰ 外国人も安心して快適に暮らせる環境づくり

- 通訳・翻訳
  - 市役所の窓口サービスの充実
  - ◎市役所以外での外国人市民サポートの充実
- 生活情報
  - ◎多言語化等ガイドラインの作成
  - ◎外国語による各種制度等の情報提供の充実
- 教育
  - ◎小・中学校での学習支援
- 防災
  - 外国語による防災関連の情報提供の充実
  - ◎防災意識の啓発
- 相談
  - ◎相談窓口に関する情報提供の充実

#### 基本目標Ⅱ 多文化共生のコミュニティづくり

- 国際化の推進
  - ◎国際化推進員の配置
- 相互理解
  - 国際交流の機会の促進
  - ◎多文化共生・異文化理解に関する啓発
- コミュニケーション
  - ◎外国人市民の日本語学習の機会の提供
  - ◎外国人市民の日本社会への理解の促進
- 外国人市民の社会参画
  - 外国語によるイベント開催等の情報提供の充実
  - ◎外国人市民のコミュニティ事業への参画の促進
  - ◎地域への通訳者・翻訳者等の派遣

#### 基本目標Ⅲ 国際感覚の豊かな人づくり

- 国際交流
  - 国際感覚あふれる人材の育成
  - ◎国際交流活動の推進
- 国際理解・国際協力
  - ◎国際理解・多文化共生に関する教育の充実
  - ◎国際協力活動の推進
- ボランティア
  - 国際交流ボランティア団体の育成
- 財産の活用
  - ◎文化財や特産品を活用した国際化の推進